東北６県の教員の皆様へ

2025 年度 JICA 東北・JICA 二本松

教師海外研修

参加者募集

ザンビア

応募締切　2025 年 5 月 30 日(金)
海外研修期間　2025 年 7 月 26 日(土)～8 月 4 日(月)

【主催】独立行政法人　国際協力機構(JICA)東北センター・二本松青年海外協力隊訓練所
【後援】外務省　文部科学省
青森県教育委員会　岩手県教育委員会　秋田県教育委員会　宮城県教育委員会
山形県教育委員会　福島県教育委員会　仙台市教育委員会　(予定)

■研修の目的:「持続可能な社会の創り手の育成」への貢献

（1）国際理解教育/開発教育の実践と推進に意欲のある教員が、本研修を通じ、開発途上国の現状・課題、日本との関係、国際協力の意義について理解を深める。

（2）研修参加者が本研修の成果を活用し、各地域で学校教育関係者等への国際理解教育/開発教育の理解促進を図り、情報を共有し、ネットワークを構築する。更に、本研修の上位目標は次のとおりです。

・研修の参加者が教育現場等で開発教育／国際理解教育を推進する中核的な役割を果たす人材となること。

■研修日程（予定）

		場　所	日　程	内　容
事前	第一次研修	オンライン	2025年6月21日(土)	・国際協力の意義・現状と課題 ・開発教育の目的、現状と課題 ・教師海外研修の概要説明 ・研修中の健康・安全管理、旅行保険等の説明 ・参加者顔合わせ、スタッフ紹介 ・派遣国事情の説明
	第二次研修	JICA東北	2025年7月12日(土)～13日(日)※1泊2日	・渡航手続き、研修日程等の説明 ・現地での活動準備 ・海外研修時のチーム内での役割決め ・指導案作成、授業実践等の確認
海外	海外研修	ザンビア	2025年7月26日(土)～8月4日(月)	JICA事業の見学およびJICA関係者との交流、現地の学校訪問、国際協力現場の視察、教材等の収集
事後	帰国後研修	JICA東北	2025年9月6日(土)～7日(日) ※1泊2日	授業実践案の発表、意見交換
	授業実践	参加者所属校	2025年10月初旬～11月下旬	研修で得た情報・教材を基にした授業実践 ※JICAスタッフ及び過年度・当該年度教師海外研修者等が見学させて頂く場合があります。
	事後研修	オンライン	2026年1月17日(土)	授業実践報告会、意見交換

※感染症の拡大状況や治安情勢等により、日程を変更または研修を中止する場合がございますので、予めご了承ください。

■応募資格：次の要件全てを満たす方に応募資格があります。
1）青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校に勤務する教員(国立・公立・私立の別は問いません)。
2）授業やクラブ活動等で国際理解教育を実践されていて、今後も継続する意思と計画がある方。または、現在は実践していないが、今後 JICA と連携・協力しながら開発教育/国際理解教育の普及促進に貢献する意欲と計画がある方。
3）所属する学校の学校長の推薦が得られる方。
4）開発途上国での研修旅行を含め、全研修行程に参加するに耐えうる健康状態である方（持病を持っていない、継続的な投薬・治療を行っていない等）。
5）原則として、過去に本研修や JICA 海外協力隊、JICA 専門家、ODA 民間モニター、国際協力レポーター、 JICA パートナーシップセミナー等、当機構の事業にて海外に派遣された経験がない方。また、それらの事業に応募中でない方。

■参加条件
1）本研修の趣旨・目的を十分理解し、海外研修だけでなく、国内で実施される事前・事後研修および報告会等全日程（左記の日程表参照）に参加すること。
2）帰国後、所定の期日内に海外研修報告書を提出すること、また、所属校にて定めた期間内に授業実践を行い、当該授業の学習指導（活動）・実践報告書を提出すること、且つこれらの提出物を JICA ウェブサイトなどで一般公開されることに同意すること。
3）今後、JICA が実施する教員対象の研修会や開発教育支援事業に協力可能であること。
4）本事業に関連して撮影された写真および事業の結果、作成された著作物について JICA が広報目的で使用することについて同意できること。
5）連絡可能なメールアドレス（携帯メール不可）を所有し、JICA が管理する SNS やメーリングリストに登録可能であること。
6）オンライン会議を用いた研修実施に対応可能であること（Wi-Fi 環境、PC 等）。

■参加費用：参加者の個人負担と JICA 負担は、下記の通りです。

	個人負担経費	JICA 負担経費
国内研修 第一次・第二次・帰国後・事後研修	・研修中の食費 ・予防接種料（研修国や経由地の状況によって、ワクチン接種をお願いする場合があります） ・その他右記以外の費用	・往復交通費 （自宅最寄駅・バス停～研修実施会場）※1 ・宿泊費（対象者のみ）※1
海外研修 約 10～15 万円程度の自己負担	・パスポート取得費用 ・現地宿泊費　※2 ・食費 ・追加保険の加入費用 ・その他右記以外の費用	・往復渡航費 ・査証代、空港使用税 ・海外旅行障害保険加入費（JICA 規定分） ・海外研修に必要な費用（車両傭上、通訳など）

※1　国内における交通費及び宿泊費は、JICA 規程によりお支払い致します。
※2　海外研修での宿泊施設については、安全面を考慮し、JICA で指定/予約することを予めご了承ください。

■研修国および募集人数
研修国：ザンビア共和国
募集人数：8 名程度

■応募方法
　ホームページより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入（学校長の署名 or 公印）の上、下記メールアドレスに送付ください。
　https://www.jica.go.jp/domestic/tohoku/activities/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html

応募用紙はエクセルファイル形式です。必要事項はエクセルファイルへのデータ入力による記載でも結構ですが、提出版については公印または学校長の署名をいただいたものを PDF ファイル化しご提出ください。
　・送付先：jicathic-jv@jica.go.jp JICA 東北
　・件名：【教師海外研修】2025 年度募集書類送付
　・締切：2025 年 5 月 30 日（金）

※ZIP ファイルならびにデータファイル共有サービス等はセキュリティ上受信できません。PDF にて送付ください。ご提出後、返信メールをお送りしますので 3 日経っても返信がなかったらご連絡ください。

■選考結果
書類選考の上、選考結果を 6 月 6 日（金）までに応募者本人及び所属先長宛に送付します。

■その他注意事項
1）年休・研修（職専免）等、研修中の扱いは所属先の判断によりますので、ご自身でご確認ください。
2）本研修では、JICA における労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、 各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償処置を行ってください。
3）JICA は出張依頼書などの発出を行いません。
4）応募用紙、報告書等の提出物の送料は自己負担になります。
5）研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかける方、決められた活動に参加できない方、また、研修中の受講態度により、国内研修中、海外研修中を問わず、研修対象者としての資格を失うことがあります。特に、海外研修中に研修対象者としての資格を失った場合、速やかに帰国するものとし、旅費・滞在費・キャンセル料など全額、該当者の負担となります。
6）本研修への応募に関して後援先から照会があった場合、目的によっては応募者ご本人と協議の上で情報共有する可能性があります。

■個人情報に関するお願い
応募時にいただいた個人情報は、利用の可否を確認の上、JICA 内の開発教育データベースに登録し、本研修以外の JICA の研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。いただいた個人情報は JICA の内部規定（個人情報保護に関する実施細則）に基づき、適切に管理いたします。
https://www.jica.go.jp/joureikun/act/frame/frame110000019.htm

■報告書の提出について
1）帰国後に海外研修報告書（A4 所定様式）を提出して頂きます。
2）JICA が指定する期日までに授業実践報告書を提出して頂きます。なお、報告書は JICA 東北のホームページに掲載・一般公開しますので、予めご了承ください。

■教師海外研修の流れ

事前研修

事前研修では、JICA や ODA についての知識に加え、訪問国の現状、開発課題等への理解を深めるとともに、現地研修での視点について考えます。また、研修後の授業立案を実践するためのスキルアップを図ります。

海外研修

海外研修では、JICA のプロジェクトサイト、現地の学校、JICA 海外協力隊や国際協力 NGO の活動現場を中心に訪問し、訪問国の現状や課題を考えます。

帰国後研修

帰国後研修では、海外研修を通じて考えたこと、学んだこと、感じたことなどを振り返り、整理します。自分が立てた計画をもとに、実践にむけて改善点等を意見交換しながら、児童・生徒に何をどう伝えるか考えます。

授業実践

授業実践では、研修での学びを活かした授業を、それぞれの学校で実践して頂きます。また授業に限らず、課外活動および校内の先生方を対象とした研修報告等の実施も期待されます。

事後研修

事後研修では、「海外研修で何を学び、どう授業に活かしたのか」、「その授業を受けた児童・生徒が何を感じ・何を学び、どんな変化が見られたのか」、「実践を通じてさらに何を考えたのか」など、国内外での研修の成果を報告・共有します。

報告書作成

一連の研修を通し、汎用性のある授業案を作成し、提出して頂きます。なお、幅広い層の教員に授業案を活用頂くため、報告書を作成します。

■過年度の報告書（研修レポート）
上記ホームページより閲覧できます。

■各地域の窓口
JICA 青森デスク　TEL：080-3140-2129　jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp
JICA 岩手デスク　TEL：080-2809-5540　jicadpd-desk-iwateken@jica.go.jp
JICA 秋田デスク　TEL：080-2809-5541　jicadpd-desk-akitaken@jica.go.jp
JICA 山形デスク　TEL：080-2809-5542　jicadpd-desk-yamagataken@jica.go.jp
JICA 福島デスク　TEL：080-2809-5543　jica_fukushima_desk@jica.go.jp

■JICA 広報部地球ひろば推進課が実施した「2025 年度 JICA 教師海外研修 募集説明会（オンライン）」の録画をご視聴になりたい方はリンクをお知らせしますので、下記お問合せ先までご連絡ください。

■お問合せ
JICA 東北　市民参加協力課　開発教育担当
〒980-0811　宮城県仙台市青葉区一番町 4-6-1　仙台第一生命タワービルディング 20 階
TEL：022-223-4772　FAX：022-227-3090　E-mail：jicathic-jv@jica.go.jp